

【人間健康学群】カリキュラムマップ(2023年度入学生用)

授与する学位:学士(人間健康学)		ディプロマ・ポリシー																	
知識・理解	幅広い視野	DP1:人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2:社会的・精神的・身体的健康のマネジメントについて適切な知識や理解、そして技術を有している DP3:幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる																	
汎用的能力	基本的能力	DP4:適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5:母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6:基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7:数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる																	
態度・志向性	豊かな人間性	DP8:仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる																	
	態度・志向性	DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12:健康管理に関わる知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13:健康管理に関わる知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している																	
統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP14:自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている DP15:現代社会の諸問題を解決するために、健康管理に関わる知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる																	
学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号																
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで																
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15		
基礎ゼミⅠ	大学生として主体的に自ら考え、学ぶ能力を身につける。	1. 大学で学ぶための基本的な力を身につける				○		○	○										
		2. グループワークを通じて豊かな人間関係を形成する										○			○				
		3. 卒業後の進路について考えることができる															○	○	
基礎ゼミⅡ	健康科学・社会学・教育学等に関わるテーマについて情報分析力、コミュニケーション力を養う。	1. 大学で学ぶための基本的な力を身につける	○	○	○														
		2. 情報を収集し、分析する力を身につける							○										
		3. グループワークを通じてコミュニケーション力を養う												○	○				
健康管理論	健康とは何か、健康に影響する要因を理解し、疾病予防のための知識、技術を身につける	1. 健康に影響する生活要因(食事・運動・休養など)を理解している	○	○														○	
		2. 食生活による疾病への影響を理解している	○	○														○	
		3. 健康を阻害するリスクが理解でき、予防策を提案できる	○	○														○	
仏教と社会福祉	仏教と社会福祉の関係を考える場合、社会福祉の側面からは、その価値基盤と仏教信仰の調和的關係構築が問題になる。こういった仏教と社会福祉の協働について学ぶ	1. 仏教社会福祉についての基礎的知識を身につける									○	○		○					
		2. 仏教的価値と社会福祉の価値が協働する場面について学ぶ													○	○			
		3. 仏教社会福祉実践の実践について学ぶ														○	○		○
心理学概論	心理学の成り立ちと人の心の基本的な仕組み及び働きについて理解する	1. 心理学の基本的な考え方や方法論について、その成り立ちや背景を学ぶ		○															
		2. 知覚、学習(条件付け)における心の基本的なメカニズムを学び、日常場面の心理学的関心を広げる			○														
		3. 記憶や動機付け等の基本的な仕組みについて学び、認知や目標達成における心の働きについて理解する			○														
食生活論	人々の食生活の変遷や、食を取り巻く環境への理解を深めることにより、その問題点について考え、より良い食生活を送るための基礎的知識を身につける。	1. 人々のライフスタイルの変化による食生活の変遷を理解している。	○															○	
		2. 個人の食生活が、社会・環境問題にも繋がっていることを理解している。	○									○							
		3. 食に関する諸問題について理解し、食生活が健康に与える影響について説明することができる。		○															○
公衆衛生学	私たちの健康に関わる衛生問題や行政の現状について学ぶ	1. 我が国における公衆衛生の現状を理解している	○	○															
		2. 我が国における保健行政を理解している	○	○															
		3. 環境と健康の関わりについて理解している	○	○						○									
社会調査入門	社会調査の意義、歴史、類型などの基本的事項と、社会と統計の関わりを理解する	1. 社会調査の意義と歴史を理解している	○	○															
		2. 社会調査の多様な類型を理解している		○	○														
		3. 社会調査によって収集されたデータと統計のかかわりを理解している		○						○									
専門職の連携(基礎)	医療福祉機関をはじめとした地域の生活者の支援に関わる職種の役割を理解する	1. 取得を目指している資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシステムを担い、人の命を救う専門職としての資格であることを理解する	○	○												○		○	
		2. 地域における包括的なヘルスケアシステムを担う他の専門職を理解する										○		○	○				
		3. 他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる															○	○	○
社会福祉の原理と政策Ⅰ	福祉制度の意義・理念、福祉の原理をめぐり理論・哲学、をふまへ、現代の社会問題の特性について理解できる	1. 社会福祉の原理をめぐり思想・哲学と理論を説明できる。	○		○							○							
		2. 社会福祉の歴史的展開の過程と欧米の比較によって特性を説明できる。	○		○														
		3. 社会構造の関わりから現代の社会問題について説明できる。	○		○								○						
社会福祉の原理と政策Ⅱ	福祉政策の基本的視点、概念・理念、構成要素、福祉政策とその課題について学び、包括的支援や福祉サービス供給過程について理解できる	1. 福祉政策の基本的視点と概念・理念を説明できる	○		○							○							
		2. 福祉政策の構成要素について説明できる	○		○							○							
		3. 福祉政策と包括的支援について説明できる	○		○							○							
社会的処方	社会的処方の定義や内容について理解し、医療サービスと人・地域との連携を考える	1. 行政の医療・介護サービスについて理解している		○															
		2. 地域活動の有用性について考えることができる		○															○
		3. 社会的処方の実践について考えることができる	○	○									○						

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号															
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15	
女性と経済	女性が自らの生涯設計をたてていくために必要となる経済および金融に関する知識を学ぶ	1. 収支管理の必要性とライフプラン実現のために不可欠な資金計画の基本を理解している		○	○													
		2. 基礎的な金融知識を持ち、金融商品を適切に利用選択できる		○														○
		3. Excelを用いて「家計のバランスシート」、「家計のキャッシュフロー表」を作成し、金利計算ができる							○									○
女性のアントレプレナーシップ	事業創造・実践に関する概念や関連知識を幅広く学び「企業家精神」を養う	1. 経営資源・投資対効果といった事業創造や実践に必要な関連知識を理解している		○													○	
		2. 新たなビジネスアイデアの発想に繋げるための視点や必要な知識を理解している		○													○	
		3. 企業家として求められる意識や精神がどういったものであるかを理解している															○	
労働と法規	労働法の体系を理解し、労働者に保障されている権利を正しく知るとともに、複雑な労働問題について考える	1. 労働法の基礎的知識を網羅的に学び、労働法の制度のしくみを理解する	○	○														
		2. 労働基準法について、概要を理解している		○	○													
		3. 労働安全衛生法について、概要を理解している		○	○													
労働社会学	日本の雇用システムと、非正規労働力率の高まり、女性の職場進出、長期安定雇用の減少といった現在の様々な課題について考える	1. 日本の雇用システムと福祉や社会政策との関係について理解している	○	○														
		2. 女性、非正規労働者、高齢者など、多様な働き方の現状を理解している	○	○							○							
		3. グローバル化の中で、今後の労働のあり方考えることができる														○	○	
人体の構造と生理Ⅰ	人体を構成する細胞、組織、器官や臓器の解剖学・生理学を学ぶ	1. 人体を構成する細胞、組織、器官について理解している		○	○					○								
		2. 骨、筋、血液・リンパ系の構造と機能について理解している		○	○					○								
		3. 循環器、内分泌の構造と機能について理解している		○	○					○								
人体の構造と生理Ⅱ	人体を構成する器官や臓器の解剖学、生理学および運動力学を学ぶ	1. 消化器、呼吸器の構造と機能について理解している		○	○					○								
		2. 泌尿器、生殖器の構造と機能について理解している		○	○					○								
		3. 神経、感覚器の構造と機能について理解している		○	○					○								
生活習慣病論	生活習慣病の内容と身体活動や運動による予防の重要性について理解する	1. 生活習慣病(NCD)の定義や各病態について理解している		○	○												○	
		2. 生活習慣病予防における身体活動や運動の重要性を理解している		○	○												○	
		3. 特定保健指導の制度と運動指導者の関わりについて理解している		○	○												○	
生涯スポーツ論	生涯学習の中での運動やスポーツの役割について学ぶ	1. 生涯スポーツの概念について理解している		○													○	
		2. 生涯スポーツの背景について理解している		○													○	
		3. 生涯スポーツを支えるシステムについて理解している		○													○	
生涯スポーツ実習	生涯スポーツの有用性を理解し実践する	1. 生涯スポーツの概念について理解している		○													○	
		2. 生涯におけるスポーツへの関わり方を理解している		○													○	
		3. ニューススポーツが実践できる		○													○	
スポーツマネジメント論	スポーツが関わっているビジネスについて学ぶ	1. スポーツマネジメントの基礎的知識について理解している		○														
		2. マネジメントの代表的な理論について理解している		○														
		3. 実際のスポーツ場面におけるマネジメントについて理解している		○						○							○	
社会調査法	社会調査が何のために何故行われるか、その特徴は何か、どのような方法があるのかなどを学び、社会調査についての基本を理解する。その上で、具体的な調査の方法を学び、社会調査を実施する上で最低限必要な一通りの知識と技術を修得する	1. 様々な統計データを読み解き(リテラシー)を修得する																
		2. 社会調査による情報収集の基本的知識を修得する																
		3. 社会調査によって収集された情報の分析に関する基本的知識を修得する																
社会調査実習Ⅰ	社会調査の基本的知識を学び、グループ実習を通じて初歩的な調査技術を習得することを目的とする。調査企画の手順と要点を説明し、授業全体での調査テーマを設定する。グループに分かれて、グループの調査テーマを設定する。グループ内で調査目的・仮説を明確化する。質問項目・回答方法の設定の仕方について説明し、グループごとに質問項目と回答方法を検討する。調査票を作成し、グループ間で相互チェックした後、印刷、製本をする。サンプリングについて理解した後、調査対象を決定する	1. 社会調査の基本的知識を習得できる								○								
		2. 社会調査を企画できる								○								
		3. 調査票を作成できる								○								
社会調査実習Ⅱ	社会調査を行う基本的知識や技術を習得することを目的とする。グループに分かれて、調査を実施する。データの集計方法を説明し、調査して得られたデータをコーディングし、パソコンにデータ入力する。データ分析に用いる基本的な方法について説明し、各グループの調査目的に沿った分析を決定する。パソコンを用いて分析を行い、分析結果を検討する。分析結果に基づいて報告書を作成する。グループごとに発表し、討論の後、各グループの分析結果に基づいて、調査全体としての結論を導く	1. 社会調査の基本的技術を習得できる															○	
		2. 社会調査を実施できる															○	
		3. 調査データを分析できる															○	
データサイエンス実践	推測統計の基本的な考え方を学び、統計解析ソフトウェアを用いて実践的なデータ分析演習に取り組み	1. 統計分析ソフトウェアを用いて、記述統計量の算出やグラフ作成を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる		○					○	○								
		2. 推測統計の基本的な考え方を説明することができる		○														
		3. 統計分析ソフトウェアを用いて、t検定、相関分析、カイニ乗検定を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる		○						○							○	
データサイエンス発展	多変量解析の基礎を学び、卒業研究等に必要な統計的データ処理を正確に実行するための技術を習得する	1. 因子分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる		○					○	○								
		2. 重回帰分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる		○					○	○								
		3. クラスタ分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる		○					○	○								
ビジネスデータ分析基礎	統計を理解し、使いこなすために必要な「統計リテラシー」の習得	1. 記述統計に関する基礎知識を身につけ、適切にデータを扱うことができる		○					○	○								
		2. Excelを用いて、データを数値やグラフで適切に要約できる		○					○	○								
		3. インターネットから公的統計データ等を入力し、適切に活用することができる			○						○							

